

2021年11月22日



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2021年10月 マンスリー レポート

集計企業数 **50** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	61,784,889 万円	100.0%	101.3% (102.1%)	60,175,268 万円	100.1% (100.9%)
食 料 品	53,552,789 万円	86.7% (88.1%)	102.1% (103.4%)	52,056,495 万円	100.6% (102.1%)
農 産	8,162,456 万円	13.2% (14.0%)	99.5% (103.0%)	7,937,716 万円	98.0% (101.7%)
水 産	4,756,937 万円	7.7% (7.8%)	100.3% (102.8%)	4,619,690 万円	98.8% (101.3%)
畜 産	6,931,627 万円	11.2% (11.1%)	100.7% (103.6%)	6,737,212 万円	99.1% (102.2%)
惣 菜	6,503,766 万円	10.5% (10.7%)	106.5% (107.7%)	6,296,475 万円	104.6% (106.0%)
日配食品	12,227,578 万円	19.8% (20.1%)	102.3% (102.8%)	11,887,523 万円	100.9% (101.5%)
加工食品	14,970,426 万円	24.2% (24.4%)	102.8% (102.4%)	14,577,880 万円	101.6% (101.3%)
生活関連	3,670,282 万円	5.9% (5.6%)	96.8% (95.0%)	3,589,147 万円	96.4% (94.6%)
衣 料 品	1,440,472 万円	2.3% (1.7%)	86.7% (87.5%)	1,423,940 万円	87.6% (88.8%)
そ の 他	3,121,346 万円	5.1% (4.6%)	101.0% (93.4%)	3,105,686 万円	101.6% (94.0%)

### ② 数 値

全店総売上高	61,784,889 万円	店舗数	5,010 店舗
総売場面積	9,957,278.5 m <sup>2</sup>	総従業員数	275,516 人

店舗平均月商	12,332.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,000.9円 (98.7%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.2 万円 (6.2万円)	平均売場面積	1,987.5 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.5 万円 (20.6万円)	パート比率(前月)	76.7% (77.0%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 10月の天候について、月平均気温は前半全国的に高温、後半は低温となり、気温の変化が大きかった。降水量は北日本の日本海側でかなり多く、西日本の日本海側でかなり少なかった。日照時間は、西日本の太平洋側でかなり多くなった
- ・ 生鮮物の相場状況について、野菜全体では安値で推移した。果物は国産ではりんご、かき、ぶどうが高値、みかんは安値で推移、輸入果物は全体的に安値で推移した。水産物は、前年に比べてやや高値で推移した。畜産物では、牛肉は前年に比べて高値で推移、豚肉は安値で推移、鶏肉はもも肉は安値、むね肉は高値で推移した
- ・ 土・日・祝日の合計は10日で、前年と比べて日曜日が1日多かった
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連について、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の解除後、全国1日あたりの新規感染者数は、減少傾向が続いて10月末時点で200人台となった
- ・ 商品動向全体について、月の前半は気温が高かったため、鍋商材やホットメニューなど冬物が苦戦したものの、後半から気温が下がり、復調傾向となった
- ・ 緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置解除を境に客単価、客数が減少したとのコメントがみられた。生鮮食品は相場環境の影響を受けて低調ではあるものの、惣菜や日配食品、加工食品は好調を維持しているため、内食需要は依然継続しているとみられる

## 《 商品動向 》

### ○農産・水産・畜産

- ・ トマトやレタス、土物類が好調であった
- ・ きのこと類、はくさい、ねぎなど鍋関連商材は低調であった
- ・ みかん、バナナは好調であったが、りんご、かきは低調であった
- ・ 不漁の影響により、さんま、秋鮭は低調であった
- ・ 相場高の影響により、まぐろは低調であった
- ・ 国産牛、国産豚は好調であったが、輸入豚、輸入牛は相場高の影響もあり低調であった
- ・ ひき肉は好調であった

### ○惣菜

- ・ 全般的に好調で、特に弁当類が好調であった
- ・ 気温低下にともなって、ラーメンを中心とした調理麺が好調に推移した

### ○日配食品

- ・ 月前半の高温の影響によりアイスやチルド飲料が好調であった
- ・ 鍋商材やおでん商材など練製品、水物、漬物は低調であった

### ○加工食品

- ・ 月前半の高温の影響により飲料が好調であった
- ・ 酒は昨年の増税の反動により好調で、特にビールが好調であった
- ・ 調味料、スナック類は好調、米は低調であった

### ○「ハロウィン」の動向について

- ・ 菓子の動向は前年並みで、早期展開で好調であったとのコメントもみられた
- ・ 当日が日曜日であったため、洋食メニューや寿司などをあわせて訴求する企業がみられた